

# エコユニット活動報告書 (2018.7~2018.6)

## ＜エコユニット情報＞

<b>ユニット名</b>	エコてく。KCT		<b>ユニット No.</b>	10010030
<b>構成人数</b>	<b>全 体 (※1)</b>	13	<b>所属する エコピープル</b>	
<b>母体となる組織 (※2)</b>	<b>企業 (団体) 名</b>	株式会社ナレッジクリエーションテクノロジー		
<b>ホームページ</b>	<b>URL</b>	http://www.jpket.com/		

<b>★活動報告 (1)</b>	
<b>【活動名称・タイトル】</b>	
生物多様性基本法制定 10 周年記念シンポジウム ～レッドリストと種の保存～	
<b>【活動の時期・期間】</b>	
2018年6月2日(土)	
<b>【活動内容と成果】</b> …参加人数等の数値的な実績も詳しくご記入願います	
<p>参加人数:2 人</p> <p>2018 年 6 月 2 日、東京の早稲田大学で、WWF ジャパン、日本自然保護協会、日本野鳥の会の共催による「生物多様性基本法制定 10 周年記念シンポジウム レッドリストと種の保存」が開催されました。生物多様性や生態系を構成する「種(しゅ)」。それを保全する手立ての一つである「レッドリスト」には、世界全体で今や 2 万 5,000 種を超える野生生物が記載されています。シンポジウムでは、このレッドリストが抱える現状の課題、そしてその活用を通じた今後の生物多様性の保全の可能性について、220 名にのぼる参加者をまじえた議論が交わされました。</p>	
<b>【期待する活動の効果】</b>	
<p>企業、学校、NPO、地域コミュニティとの協働による継続的な環境教育を通じた地域社会への貢献と、社員一人ひとりが会社生活とは異なる形で社会とのつながりを持ち、社会的な課題への関心を高めていくだけでなく、自然環境と向き合うことで、参加者自身が「自然環境を大切にしたい」と興味を持つことを目的としています。</p>	
<b>【現状の課題とその解決に向けた今後の取り組み】</b>	
学際的な内容だけでなく、得た知識をもとに実際に行動するといった取り組みを行うための環境づくりが必要である。	
<b>【実績】</b>	
今回の取り組みは初めての取組みですか？ 継続した活動ですか？	
<p>① <input checked="" type="checkbox"/> <b>初めて</b>                      ② 継続(      年      月頃から)</p>	
<b>【ホームページ】</b> ※参照するページがあれば URL をご記入ください。	
<a href="https://www.wwf.or.jp/activities/eventreport/3644.html">https://www.wwf.or.jp/activities/eventreport/3644.html</a>	

<b>▲活動報告 (2)</b>	
<b>【活動名称・タイトル】</b>	
第 13 回隅田川クリーン大作戦	
<b>【活動の時期・期間】</b>	
2018 年 6 月 16 日(土)	

<p><b>【活動内容と成果】</b> …参加人数等の数値的な実績も詳しくご記入願います</p> <p>参加人数:2人          東京の「母なる隅田川」の環境を守るとともに、「魅力のある水辺の創出」に向けて、隅田川中流域の桜橋から下流部の勝鬨橋までの約8kmの両岸を対象にテラス・緑地帯を4ルートに分け、歩きながら夫々浜町公園まで清掃を行います。(1ルート平均約4km)          &lt;集合場所・各ルート&gt;          担当ルート3:石川島公園＝大江戸線「月島駅」</p>
<p><b>【期待する活動の効果】</b></p> <p>自治体、企業、NPO、地域コミュニティとの協働による継続的な環境保全活動と環境教育を通じた地域社会への貢献と、社員一人ひとりが会社生活とは異なる形で社会とのつながりを持ち、社会的な課題への関心を高めていくことを目的としています。</p>
<p><b>【現状の課題とその解決に向けた今後の取り組み】</b></p> <p>休日などを使用した地域ボランティアとなり、任意参加のため参加者数が一定にならず、参加者が集まりにくい回もある。このため、会社としても、前日に再度周知するなど参加しやすい環境づくりを検討していく必要がある。</p>
<p><b>【実績】</b></p> <p>今回の取り組みは初めての取組みですか？ 継続した活動ですか？</p> <p>① <input checked="" type="checkbox"/> 初めて                      ② 継続(      年      月頃から)</p>
<p><b>【ホームページ】</b> ※参照するページがあればURLをご記入ください。</p> <p><a href="http://jp.a-rr.net/jp/news/member/3092.html">http://jp.a-rr.net/jp/news/member/3092.html</a></p>

<p><b>▲活動報告(3)</b></p>
<p><b>【活動名称・タイトル】</b></p> <p>ヨセミテ国立公園(世界遺産)視察</p>
<p><b>【活動の時期・期間】</b></p> <p>2016年5月25日(金)</p>
<p><b>【活動内容と成果】</b> …参加人数等の数値的な実績も詳しくご記入願います</p> <p>参加人数:3人          ヨセミテ国立公園はカリフォルニア州のシエラネバダ山脈に広がる自然公園で、1984年に世界遺産登録されアメリカを代表する国立公園である。CSR活動の行動指針の一環で自然環境保護の状況を現地視察しました。</p>
<p><b>【期待する活動の効果】</b></p> <p>ヨセミテに限らず、アメリカの国立公園の教育、普及、啓発の姿勢の原点は「立ち入り禁止」として遠ざけるのではなく、むしろ積極的にふれあって実体験してもらい、その大切さを実感し、自然保護とNPS(National Park Service:アメリカ合衆国国立公園局)の良き理解者を育てることが国立公園における環境教育活動の役割である。つまり利用者の「自然とのふれあい活動」に政府として積極的に関与していく方針がみられるのである。これらの環境教育方針に触れることにより、社内CSR活動における環境活動にも実体験を多く取り入れるようにしてゆくという行動方針の示唆を得た。</p>
<p><b>【現状の課題とその解決に向けた今後の取り組み】</b></p> <p>大自然のなかに自分の心とからだを置いて、五感をひらいてありのままの自然と向き合うことそのものが、いちばんの環境教育なのだ我々は信じている。多くの社員が実体験を通じた環境教育を実践することの大切さを認識した。</p>
<p><b>【実績】</b></p> <p>今回の取り組みは初めての取組みですか？ 継続した活動ですか？</p> <p>① <input checked="" type="checkbox"/> 初めて                      ② 継続(      年      月頃から)</p>
<p><b>【ホームページ】</b> ※参照するページがあればURLをご記入ください。</p> <p>N/A</p>

<b>▲活動報告（４）</b>	
<b>【活動名称・タイトル】</b>	
オフィスのエコ活動	
<b>【活動の時期・期間】</b>	
2014年1月～現在	
<b>【活動内容と成果】 …参加人数等の数値的な実績も詳しくご記入願います</b>	
<p>クリーンオフィス、グリーンオフィスを社員一人ひとりが実践する。活動内容は、以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本社メンバーによる、ペーパーレス化の実施。</li> <li>・紙コップを使用しない。</li> <li>・コピー用紙を使用しないで、PDF化。</li> <li>・社内用書類の印刷簡素化(縮小印刷等)</li> <li>・使用したコピー用紙の再利用。</li> <li>・観葉植物設置(職場内緑化)。</li> <li>・離籍時のPCOFF対応(節電)。</li> <li>・ISO14001の取り組みに沿った、活動の可視化。</li> </ul>	
<b>【期待する活動の効果】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙使用量の削減(森林伐採削減)</li> <li>・消費電力の削減(発電量減少)</li> <li>・目の保養(健康増進)</li> </ul>	
<b>【現状の課題とその解決に向けた今後の取り組み】</b>	
<p>本社勤務、現場勤務と勤務地に違いがあるため、全てのエコてく。メンバーに浸透していない。</p> <p>今後は、各現場にエコてく。サブリーダー(現場リーダー)を設け、本社勤務メンバー同様の運用とする。</p>	
<b>【実績】</b>	
<p>今回の取り組みは初めての取り組みですか？ 継続した活動ですか？</p> <p style="text-align: center;">① 初めて                      ② <input checked="" type="checkbox"/> 継続(2014年1月頃から)</p>	
<b>【ホームページ】 ※参照するページがあればURLをご記入ください。</b>	
N/A	

<b>▲活動【指定テーマ】</b>	
<b>【活動名称・タイトル】</b>	
<b>エコピープルを増やすための活動（eco検定普及活動）</b>	
<b>【活動の時期・期間】</b>	
エコピープル活動(加入時期)から継続的に実施	
<b>【活動内容と成果】 …参加人数等の数値的な実績も詳しくご記入願います</b>	
<p>当社エコ活動のチーム「エコてく。」の参加メンバーは、2017年4月時点で12名になります。メンバーは、eco検定を含む環境に関連する資格試験の取得による、環境学習を積極的に行えるよう、該当資格の取得に補助や人事考課のプラス評価などの仕組みを取り入れ、「エコてく。」メンバーが主体的に向学心を持てるように取り組んでいる。(現在、4名がeco検定を合格)</p>	
<b>【期待する活動の効果】</b>	

環境に関する知識の醸成と、そこから当社の掲げるエコ活動への動機づけと日常生活におけるエコへの意識の向上とエコエバンジェリストとなることを期待している。

**【現状の課題とその解決に向けた今後の取り組みについて】**

資格試験取得者が活動メンバーに対し低い状況である。資格取得しやすい環境作りが、会社全体で行われる必要がある。また、資格試験に合格するだけでなく、継続的な学習として、世界自然遺産の見学やエコツーリズムなどに参加することで、発展的学習を図ってゆきたい。

**【実績】**

今回の取り組みは初めての取組みですか？ 継続した活動ですか？

- ① 初めて                      ② **継続** (2010年 4月頃から)

**【ホームページ】** ※参照するページがあればURLをご記入ください。

**【活動名称・タイトル】**

**★来年の計画や活動テーマ、抱負。**

上記活動を継続的に行うとともに、1.地域ボランティア(貢献する) 2.環境に関する教育(広める) 3.環境に関する知識の醸成(学ぶ) 4.グリーンオフィスを推進(実践する) 5.個人で実践する の5つの活動分野を深化させ、特に地域ボランティアでは、社員参加型の地域貢献活動などを通じて、社員の環境活動への動機づけや気付きなどを醸成してゆき、社員のリベラルアーツ教育に一助となるような活動とする。